

DX 博士人材フェローシップ申請書

【作成上の留意事項】

- (1) 書体は、日本語は游明朝体（又はヒラギノ明朝）、英数は Times New Roman を推奨します。
- (2) フォントサイズは 11pt としてください。
- (3) 行間は 15pt としてください。

0 研究の概要

「1 研究背景、研究目的、研究方法」および「2 挑戦的・融合的研究としての意義」に記載した内容の概要について、焦点を絞り、1 頁以内で簡潔にまとめて記述してください。特に挑戦的・融合的な点については、本フェローシップ制度の趣旨を十分に理解し、強調して記述してください。

SAMPLE

1 研究背景、研究目的、研究方法

(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。原則として、2頁までとすること。)

①本研究の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯について、参考文献を挙げて記入してください。

②目的、年次計画、方法等について、具体的かつ明確に記入してください。

※在学生はこれまでの研究業績を中心に記述していただいても構いません。

SAMPLE

SAMPLE

2 挑戦的・融合的研究としての意義（本フェローシップに応募する理由）

（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。原則として、1 頁程度とすること。）

- ①【挑戦的・融合的研究としての意義】学術の現状を踏まえ、本研究構想が挑戦的・融合的研究としてどのような意義を有するか、探索的性質の強い、あるいは芽生え期の研究計画である場合には挑戦的研究としての独創性、多角的な視点を持つ研究計画である場合には融合的研究として多様な分野との関連性について記述してください。
- ②【研究成果の社会還元】研究成果が科学技術、産業、文化など、幅位広い意味で社会に応用、実装するに至るアイデアや、新たに創出される社会的価値などについて記述してください。

SAMPLE

3 研究遂行能力、研究業績

(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。原則として、1頁程度とすること。)

- ①【挑戦的・融合的研究の遂行能力】応募者の研究遂行能力について記述してください。(これまでの研究活動の具体的な内容等により本研究を遂行するための能力を示す等、必要に応じて今回の研究構想に直接関係しないものを含めてもよい。例：専門分野に直接関係しない授業や特別教育プログラムの履修や参加、シンポジウム・セミナーへの参加状況、留学経験、学内外における団体での活動)
- ② 研究業績として学術雑誌等に発表した論文および総説、国際会議・国内学会・シンポジウム等における発表、特許等、受賞歴等があれば記載してください。

SAMPLE

4 自身の専門的な研究内容に DX（デジタルトランスフォーメーション）を活かした取組の実現可能性

（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。原則として、1 頁程度とすること。）

【DX の活用への意欲】自身の研究に DX を活用することの意義、得られる効果などを記述してください。

SAMPLE

5 自己評価（志望動機、キャリアパス構想等）

（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。原則として、1 頁程度とすること。）

- ① 本フェローシップで育成する人材に求められる4つの能力（(1)DX 推進力、(2)課題抽出・解決力、(3)異分野融合展開力、(4)国際コミュニケーション力）に対する現状の自己分析を行い、これらの能力向上のために本プログラムをどのように活用したいか記述してください。
- ② 自身が目指すキャリアパスとその実現のために、本フェローシップにおいてどのような取組を行うのか、記述してください。

SAMPLE